

この度は、弊社商品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、大切に保管して下さい。

使用手順

このコンテナは、ジュース、フローゼン・ミックス、ソース、スープ、ピューレ、ケーキ生地など液体を攪拌したり、また水を加えて野菜などを刻んだりするためにデザインされたものです。

1. 本体中央のスピードダイヤルが「1」になっているか確認してください。
2. コンテナを本体に取り付ける前にコンテナに食材を入れてください。液体と柔らかい食材を最初に入れ、固形状のものや氷は後で入れてください。
3. 2つのパーツからなる上蓋（ゴム蓋、クリアキャップ）をしっかり閉めてください。キャップの開口部からタンパーを挿入する場合を除き、つねに2つのパーツを一緒にしてご使用ください。
特に熱した食材をブレンドする場合は、フタがしっかりと装着されているか確認してください。
4. スイッチがOFFの状態、ウェットコンテナを本体上部にしっかりと取り付けてください。作動中にコンテナを置こうとしたり、コンテナを正しく取り付けないうちに操作したりしないでください。
5. 本体の向かって左側のスイッチを「Variable (△) (弱モード)」に設定してから開始してください。
つねに Variable (△) (弱モード) スピードダイヤル「1」から開始してください。 機械の操作は、ON/OFF (I) / (O) スイッチを ON (I) に入れ機械を作動させてから、本体中央のダイヤルをゆっくりとお好みのスピードに上げていってください。コンテナのスピードがシフトし、そのうちダイヤルを合わせたレベルに落ち着きます。
6. **熱くなっている食材を扱ったり攪拌する場合、熱いスープやソースを作る場合は注意を怠らないでください。**

⚠ 注意



- ・火傷するおそれがあるため、高温の液体が入っている場合は、決して「High」の状態ですwitchを入れないでください。
- ・漏れ出る蒸気や飛沫によって熱傷する恐れがありますので、注意をしてください。
- ・フタのツメをしっかりコンテナに掛けてロックしてください。これにより、フタの位置がずれることを防ぎます。
- ・Variable(弱)モード、スピードダイヤル「1」から開始し、ゆっくりと「10」まで上げてから High (強モード) に切り替えてください。



7. 高速機械なので、攪拌時間は標準の製品よりもはるかに迅速です。お客様が本機に慣れるまでは、攪拌超過になるのを防ぐよう注意してください。
8. 本体の電源をオフにした後、ブレードが完全に停止してからフタを外したり、コンテナを外してください。

お手入れとクリーニング

コンテナ

新しい機械を初めてご使用になる場合は、下記の通常のクリーニング方法に従って行ってください。コンテナが洗淨され、モーターの慣らし運転ができます。

通常のクリーニング：

1. コンテナにぬるめのお湯を半分ぐらい満たし、食器用液体洗剤を2滴ほどたらしてください。
2. 2つのパーツがそろった上蓋（ゴム蓋、クリアキャップ）をコンテナにしっかりとはめ込んでください。
3. Variable（弱モード）スピードダイヤル「1」に設定してください。本体のスイッチをオンにし、ゆっくりとスピードダイヤルを「10」まで上げ、それからHigh（強モード）にしてください。
4. 機械をHigh（強モード）で30～60秒ほど作動させてください。
5. 本体のスイッチをオフにし、コンテナを水ですすいで自然乾燥させてください。

滅菌方法：

1. 上記の通常のクリーニング方法を実施してください。
2. コンテナに水を半分ぐらい満たし、液体漂白剤を小さじ1杯半入れてください。
3. 2つのパーツがそろった上蓋（ゴム蓋、クリアキャップ）をコンテナにしっかりとはめ込んでください。
4. Variable（弱モード）スピードダイヤル「1」に設定してください。本体のスイッチをオンにし、ゆっくりとスピードダイヤルを「10」まで上げ、それからHigh（強モード）にしてください。
5. 機器をHigh（強モード）で30～60秒ほど運転してください。
6. スwitchをオフにし、漂白液をそのままさらに1分半ほど放置してください。
7. 漂白液を捨ててください。十分に水ですすぎコンテナを自然乾燥してください。

ゴム蓋とクリアキャップ

ゴム蓋とクリアキャップを分けてください。石鹼を含んだぬるま湯で洗ってください。流し水ですすいで自然乾燥させてください。組み立ててからご使用ください。

【重要】長く効果的にお使いいただくために、コンテナ、ゴムフタ、クリアキャップは食器洗淨機に入れしないでください。

品質表示

原料樹脂：コポリエステル 耐熱温度：100℃ 容量：1.4L

使用上の注意：火気に近づけないでください。

研磨剤など硬いもので擦らないでください。傷がつく恐れがあります。